

春季・秋季入学試験科目 専門科目

音楽文化学科

- 入学試験に際しての受験生の練習室使用については、受験票送付の際にお知らせします。本学所有の楽器（デジタル鍵盤楽器〔電子オルガン〕、打楽器等）での練習を希望する場合には、事前に学事部入試係に連絡してください。

音楽文化専修

音楽文化専修には次の3つのプログラムがあります。いずれかを選んで受験してください。

創作プログラム（作曲・メディアコンテンツ）

1年次から「作曲」を履修し、入学後1年次より週1時間の個人レッスンを受けることができます。

創作プログラム（デジタル鍵盤楽器（電子オルガン））

1年次から「デジタル鍵盤楽器」を履修し、入学後1年次より週1時間の個人実技レッスンを受けることができます。

研究・総合プログラム

1年次は音楽文化に関して幅広く学び、2年次から専門分野を選択し、深く学びます。

創作プログラム（作曲・メディアコンテンツ）

学校推薦型・一般・総合型

次の(1)と(2)を受験。

(1)以下のAまたはBを選択

A. 作品提出型：自作品の譜面コピー、あるいはコンピュータ・ミュージック（DTM、GarageBand等）の作品を収録したデータおよびメディアコンテンツ（映像）のデータ（CD-R、USBメモリー、SDメモリーカードなど）を出願書類と共に提出。※提出作品等は返却しません。

B. プレゼン型：オリジナル作品の録音・メディアコンテンツ等による自己アピール・プレゼンテーション（5分程度、作品の再生時間を含む）

「ベト探!」プログラム修了証を取得している場合には上記(1)を免除します。（創作講座を2つ以上受講必須）

「ベト探!」については
本学ホームページを
ご覧ください。



(2)専修教員による面接

特待奨学金チャレンジ課題

上記の課題に加え、次の課題を当日受験。

・和声課題（ソプラノまたはバス課題による4声体和声、試験時間：60分）

初年度奨学生入学試験

次の(1)～(3)を受験。

(1)和声課題（ソプラノ課題およびバス課題、試験時間：120分）

(2)作品提出課題：自作品の譜面コピー、あるいはコンピュータ・ミュージック（DTM、GarageBand等）の作品を録音したデータおよびメディアコンテンツ（映像）のデータ（CD-R、USBメモリー、SDメモリーカードなど）を出願書類と共に提出。※提出作品等は返却しません。

(3)創作活動に関する口頭試問

創作プログラム(デジタル鍵盤楽器(電子オルガン))

学校推薦型・一般・総合型

次の(1)～(3)を受験。

- (1)自由曲1曲(5分以上8分以内)を繰り返しなしで演奏。自作曲可、ジャンルは問いません。
楽譜使用可。

- (2)初見演奏：課題は試験当日に提示します。予見(5分)あり。

※当日、試験会場内でレジストレーションの設定はできませんので、あらかじめUSBメモリーを用意してください。使用範囲は、レジストレーション情報(レジストレーションの呼び出しとレジストレーションメモリーのチェンジ)のみとします。

※試験に使用する機種は、ヤマハ・エレクトーンELS-02CまたはELS-02X(バイタライズ)です。
ELS-01CまたはELS-01Xでも可。「曲目記入票」の使用機種の□に✓してください。

- (3)専修教員による面接

特待奨学金チャレンジ課題

上記の課題に加え、次の課題を当日受験。

- ・モチーフ即興

与えられたモチーフによる即興。3つの課題より1つを選択し、5分以内の作品にまとめる。
予見(5分)あり(メモを取ることはできません)。

※試験に使用する機種はヤマハ・エレクトーンELS-02CまたはELS-02X(バイタライズ)です。
ELS-01またはELS-01Xでも可。「曲目記入票」の使用機種の□に✓してください。

初年度奨学生入学試験

次の(1)と(2)を受験。

- (1)以下のア、イをそれぞれ1曲以上含んだプログラム演奏(15分以上20分以内、暗譜)

ア：自由曲

イ：自編曲あるいは自作曲(ジャンルは問わない)

- (2)モチーフ即興

与えられたモチーフによる即興。3つの課題より1つを選択し、5分以内の作品にまとめる。
予見(5分)あり(メモを取ることはできません)。

※試験に使用する機種はヤマハ・エレクトーンELS-02CまたはELS-02X(バイタライズ)です。
ELS-01またはELS-01Xでも可。「曲目記入票」の使用機種の□に✓してください。

研究・総合プログラム

学校推薦型・総合型

次の(1)と(2)を受験。

(1) 以下のAまたはBを選択。

A. 記述型課題：音楽体験に関する記述(字数：400字程度、試験時間：40分)

B. 探究型課題：探究活動の成果プレゼンテーション(7分程度)

「ベスト探!」プログラム修了証を取得している場合には上記(1)を免除します。

「ベスト探!」については
本学ホームページを
ご覧ください。



(2) 専修教員による面接

特待奨学金チャレンジ課題

上記の課題に加え、次の課題を当日受験。

- ・音楽文化に関する小論文(字数：800字程度、試験時間：60分)
課題は試験場で提示します。

一般

次の(1)と(2)を受験。

(1) 記述型課題：音楽体験に関する記述(字数：400字程度、試験時間：40分)

(2) 専修教員による面接

特待奨学金チャレンジ課題

上記の課題に加え、次の課題を当日受験。

- ・音楽文化に関する小論文(字数：800字程度、試験時間：60分)
課題は試験場で提示します。

初年度奨学生入学試験

次のAまたはBより1つを選択。

A. 小論文型課題

以下の(1)および(2)を受験。

(1) 音楽文化に関する小論文(字数：800字程度、試験時間：60分)

課題は試験場で提示します。

(2) 小論文に関する口頭試問

B. 探究型課題

以下の(1)～(3)を受験。

(1) 探究活動の成果物の提出(論文・発表の記録・実験成果いずれかのコピー)

※提出論文等は返却しません。

(2) 探究活動の成果プレゼンテーション(7分程度)

(3) 探究活動に関する口頭試問

幼児音楽教育専修

学校推薦型・一般・総合型

次の(1)と(2)を受験。

- (1)記述型課題：幼児音楽教育に関するテーマについての記述。テーマは当日発表します。
(字数：400字程度、試験時間：45分)
- (2)口頭試問：記述の内容に基づき質疑応答を行います。

特待奨学金チャレンジ課題

上記の課題に加え、次のア～ウより1つを選んで当日受験。

5分程度の自由曲。楽譜の使用は任意。管弦打楽器とうたは伴奏なしで演奏。
ア. ピアノ イ. 管弦打楽器 ウ. うた(童謡も可)

初年度奨学生入学試験

次の(1)～(3)を受験。

なお、選考においては、これらの試験結果に加えて出身学校調査書も重視します。

- (1)小論文課題：子どもに関する文章の読解と論述(字数：1,000字程度、試験時間：70分)。
- (2)実技課題：次のア～ウより、2つを選んで演奏。いずれも5分程度の自由曲。楽譜の使用は任意。
管弦打楽器とうたは伴奏なしで演奏。
ア：ピアノ
イ：管弦打楽器
ウ：うた(童謡も可)
- (3)口頭試問：上記の(1)と(2)について質問します。

演奏学科

- 入学試験に際しての受験生の練習室使用については、受験票送付の際にお知らせします。本学所有の楽器（パイプオルガン、チェンバロ、打楽器等）での練習を希望する場合には、事前に学事部入試係に連絡してください。なお、パイプオルガンの練習は実技試験日の2日前からとし、原則として1日2時間とします。

声楽専攻

学校推薦型・一般・総合型

次の(1)と(2)を演奏。

(1)課題曲

下記の課題曲群より、任意の1曲を暗譜で演奏。

(2)自由曲

任意の1曲を暗譜で演奏。

学校推薦型・一般・総合型(特待奨学金チャレンジ課題)

次の(1)と(2)を演奏。

(1)課題曲

下記の課題曲群より、以下の3曲を選択。志願者が選択した外国語の歌曲2曲の中から本学が試験当日に指定した1曲と、志願者が選択した日本歌曲1曲を暗譜で演奏。

・外国語 2曲(イタリア語・ドイツ語に関係なく自由に選択して良い)

・日本歌曲 1曲

(2)自由曲

任意の1曲を暗譜で演奏。

課題曲

〔外国語 イタリア語・ドイツ語〕

- ① Già il sole dal Gange
- ② Son tutta duolo
- ③ Caro laccio
- ④ Lasciar d'amarti
- ⑤ Sebben crudele
- ⑥ Caro mio ben
- ⑦ Nina
- ⑧ Nel cor più non mi sento
- ⑨ Vaga luna, che inargenti
- ⑩ Sogno
- ⑪ Das Veilchen
- ⑫ An Chloe
- ⑬ Sehnsucht nach dem Frühlinge
- ⑭ Ich liebe dich
- ⑮ An die Musik
- ⑯ Frühlingsglaube
- ⑰ Die Lotosblume
- ⑱ Sonntag
- ⑲ Wiegenlied
- ⑳ Verborgeneheit

- A. Scarlatti
- A. Scarlatti
- F. Gasparini
- F. Gasparini
- A. Caldara
- T. Giordani
- G. B. Pergolesi
- G. Paisiello
- V. Bellini
- F. P. Tosti
- W. A. Mozart
- W. A. Mozart
- W. A. Mozart
- L. v. Beethoven
- F. Schubert
- F. Schubert
- R. Schumann
- J. Brahms
- J. Brahms
- H. Wolf

〔日本歌曲〕

- ① 荒城の月(任意の2節を歌唱) 瀧 廉太郎
- ② 納涼 瀧 廉太郎
- ③ かやの木山の 山田耕筰
- ④ 早春賦 中田 章
- ⑤ 北秋の 信時 潔
- ⑥ 行々子 信時 潔
- ⑦ 浜辺の歌(1,2 番のみ) 成田為三
- ⑧ 平城山 平井康三郎
- ⑨ さくら横ちょう 中田喜直
- ⑩ むこうむこう 中田喜直

※共演ピアニストは本学で準備する。ただし、特待奨学金チャレンジ課題に挑戦する場合は、各自同伴も可能です(同伴の場合は伴奏楽譜の提出は不要)。

※伴奏楽譜の左上に氏名、課題曲については番号を記入し、出願書類と共に提出すること。

※自由曲について(1)の課題曲群の中の曲と同一の曲は演奏できない。

※課題曲(外国語)、課題曲(日本歌曲)、自由曲の演奏順は自由。

※30頁の声楽専攻志願者に対する注意事項も確認すること。

声楽専攻

ソリスト奨学生入学試験およびアーティスト21特別入学試験

- ・伴奏付きの楽曲については、共演ピアニスト(必要に応じて譜めくり要員)を各自同伴のこと。

30分程度のプログラム(正味演奏時間26分以上30分未満)を暗譜で演奏。ただし、以下の課題を満たすプログラムとすること。

- (1)異なる2つ以上の時代様式の作品
- (2)コンサート・アリア、オラトリオ、オペラ・アリアから2曲以上
- (3)2カ国語以上の外国語による作品
- (4)W. A. Mozartの作品を1曲以上
- (5)日本歌曲を1曲

声楽専攻志願者に対する注意事項

- ※すべて原語での演奏、ただし、慣習的に認められている訳語は可(例:歌劇《連隊の娘》をイタリア語、A. DvořákやE. Griegの歌曲をドイツ語で演奏するなど)。
- ※オペラ、オラトリオのアリアは原調によるものとする。慣習的に認められている移調は可(例:歌劇《セヴィリアの理髪師》から〈今の歌声は〉をへ長調で演奏するなど)。
- ※歌曲の調性は自由。
- ※有節歌曲においては原則原曲のまま演奏すること。ただし、節が多い場合、または慣習的に2節までしか演奏しない曲はその限りではない(例:〈荒城の月〉は任意の2節、〈浜辺の歌〉は1、2番のみ演奏するなど)。
- ※コンコーネ、ヴァッカイ、パノフカなどの声楽教本を含めない。

〈曲目記入票の記入例〉

オペラの場合

作曲者名	曲目、調性、作品番号、楽章等
W. A. Mozart	‘Voi che sapete’ Opera “Le nozze di Figaro”

歌曲の場合

作曲者名	曲目、調性、作品番号、楽章等
V. Bellini	Vaga luna, che inargenti
中田喜直	さくら横ちょう

鍵盤楽器専攻 (ピアノ、パイプオルガン、チェンバロ)

学校推薦型・一般・総合型

次の(1)と(2)の順にピアノで演奏。

(1) 課題曲

J. S. Bach : 《シンフォニア》より1曲、または《平均律クラヴィーア曲集》第1巻、第2巻より任意の1組のプレリュードとフーガ(暗譜、繰り返しなし)

(2) 自由曲

5分程度の任意の曲(暗譜、繰り返しなし、複数の楽曲の組み合わせも可)

※パイプオルガンを専攻する受験生は、自由曲をパイプオルガンで演奏可(楽譜使用可)。

※チェンバロを専攻する受験生は、課題曲、自由曲ともチェンバロで演奏可(楽譜使用可)。

特待奨学金チャレンジ課題

ピアノ

以下の(1)～(3)の順に暗譜、繰り返しなしで演奏。

(1) J. S. Bach : 《平均律クラヴィーア曲集》第1巻および第2巻より任意の1組のプレリュードとフーガ

(2) F. Chopin の op. 10 および op. 25 の練習曲集、または M. Moszkowski の15の練習曲 op. 72より任意の1曲

(3) 自由曲

5分程度の任意の曲(複数の楽曲の組み合わせも可)

パイプオルガン

以下の(1)と(2)の順に演奏(楽譜使用可)。

(1) J. S. Bach : 《オルガン小曲集》BWV 599-644より任意の1曲

[使用楽譜 : Bärenreiter あるいは Breitkopf の新版]

(2) F. Mendelssohn : 《3つの前奏曲とフーガ》作品37より任意の1曲(前奏曲とフーガの両方)

[使用楽譜 : Peters、Bärenreiter、Henle、Breitkopf のいずれか]

チェンバロ

以下の(1)と(2)を含む15分以上20分未満の演奏(楽譜使用可)。

(1) J. S. Bach : 《平均律クラヴィーア曲集》第1巻および第2巻より任意の1組のプレリュードとフーガ

(2) F. Couperin の組曲(抜粋可)または J. P. Sweelinck、G. Frescobaldi、J. Froberger など16・17世期の初期バロックの作品

ソリスト奨学生入学試験およびアーティスト21特別入学試験

ピアノ

以下の(1)～(3)を含む30分以上のプログラムを暗譜、繰り返しなしで演奏(正味演奏時間が30分以上あること)。

(1) 技術課題1

J. S. Bach : 《平均律クラヴィーア曲集》第1巻および第2巻より任意の1組のプレリュードとフーガ、または5分程度以上の古典派の作品

(2) 技術課題2

F. Chopin の op. 10 および op. 25 の練習曲集、F. Liszt、C. Debussy、S. Rachmaninoff、A. Scriabin の練習曲より任意の2曲

(3) 自由曲

国際コンクールの課題曲と同レベルの作品(複数の楽章、組曲の抜粋なども可)

ソリスト奨学生入学試験およびアーティスト21特別入学試験

パイプオルガン

以下の(1)と(2)を含む30分以上のプログラムを繰り返しなしで演奏(楽譜使用可)。

(1)技術課題

J. S. Bach : 《トリオ・ソナタ》BWV 525-530 から任意の1曲

(2)自由曲

国際コンクール課題曲と同レベルの作品で、広範囲な時代様式にわたるレパートリーを1曲(15~20分程度)
自由曲の楽曲例

M. Reger : コラル幻想曲《ハレルヤ! 神を賛美することはわが心の喜び》op. 52-3

F. Liszt : バッハの名前による《前奏曲とフーガ》

Ch. M. Widor : 《オルガン交響曲 第6番》op. 42-2

チェンバロ

以下の(1)~(4)を含む30分以上のプログラムを繰り返しなしで演奏(楽譜使用可)。

(1) J. S. Bach : 《平均律クラヴィーア曲集》第1巻および第2巻のうち任意の1組のプレリュードとフーガ

(2) 技巧を表現できる D. Scarlatti の楽曲

(3) F. Couperin の組曲(抜粋可)

(4) 次の2曲より任意の1曲

(a) J. P. Sweelinck, G. Frescobaldi, J. Froberger などの16・17世紀の初期バロックの作品

(b) 《The Fitzwilliam Virginal Book》より任意の1曲(組曲、楽曲のどちらでも可)

管弦打楽器専攻(管弦打楽器、古楽器、民族伝統楽器)

学校推薦型・一般・総合型 特待奨学金チャレンジ課題は36～40頁を参照。

次の(1)と(2)を演奏。 ※必ず楽器ごとの確認事項を確認すること

(1)技術課題

音階……任意の調性・音域・リズム・テンポで演奏(暗譜)。

(2)自由曲

3～5分程度の任意の楽曲(エチュード含む)を繰り返しなしで演奏。伴奏なし。

楽譜の使用は任意。複数の楽曲の組み合わせも可。

※トランペットとハープは自由曲ではなく課題曲です。(ハープの技術課題は課題曲に含まれています。)

※複数楽章で構成されている曲の場合は、各自が選択した1つの楽章のみを演奏。

※5分を超える楽曲も選択できます。ただし、試験時には途中で演奏を止める場合もあります。

その場合、採点には影響しません。

※リコーダー、トロンボーン、ヴァイオリン、ヴィオラの確認事項はありません。

※コントラバス、マリンバまたはハープで受験する場合、本学の楽器を使用することができます。

希望者は事前に学事部入試係に連絡してください。

【確認事項】

フルート

(1)技術課題

H. Altes : 《Flute Method》第2巻の冒頭スケールより任意の調性を1つ選択し演奏。

(2)自由曲の楽曲例

E. Köhler : 《フルートのための35の練習曲》op. 33 第1巻および第2巻より任意の1曲

C. P. Stamitz : 《フルート協奏曲 ト長調》op. 29より第1楽章

W. A. Mozart : 《フルート協奏曲 第1番 ト長調》または《フルート協奏曲 第2番 ニ長調》より第1楽章

オーボエ

(1)技術課題

次の譜例を参考に任意の調性を1つ選択し演奏。

再低音B $\flat$ (変ロ)からF(1点ヘ)までの音域で開始する調の場合

例 C dur



例 e moll

G $\flat$ (1点変ト)からA(1点イ)までの音域から開始する調の場合

例 G dur



例 a moll



(2)自由曲の楽曲例

L. Wiedemann : 《45 Etüden》より任意の1曲

W. Ferling : 《48 Etudes》より任意の1曲

(注)このページには【確認事項】を掲載しています。学校推薦型選抜・一般選抜・総合型選抜の入学試験科目
専門科目は33頁を参照してください。

クラリネット

自由曲の楽曲例

- J. Lancelot : 《33 Études》より任意の1～3曲
- C. Rose : 《32 Etudes》より任意の1～2曲
- C. M. v. Weber : 《クラリネット小協奏曲》op. 26 第111小節目まで
- C. P. Stamitz : 《クラリネット協奏曲 第3番 変ロ長調》より第1楽章
- F. Krommer : 《クラリネット協奏曲 変ホ長調》op. 36より第1楽章 再現部の前まで
- H. Rabaud : 《Solo de concours》op. 10より 6/8の前まで
- A. Messenger : 《Solo de concours》tempo primoまで(カデンツ含む)
- N. Gade : 《幻想小曲集》op. 43より1. Andantino con motoおよび2. Allegro vivace

サクソフォーン

(1) 技術課題の参考例

須川展也編 : 《サクソフォーンのためのトレーニング・ブック》(音楽之友社)より
任意の調性を1つ選択し演奏。

(2) 自由曲の楽曲例

- G. Lacour : 《50 Études faciles et progressives》第2巻より任意の2曲
- Ferling/Mule : 《48 Études》より任意の奇数番と偶数番を各1曲
- R. Planel : 《プレリュードとサルタレロ》カデンツまでとカデンツの後からを演奏。
- P. Maurice : 《Tableaux de Provence》より任意の楽章を1～2曲
- J. Demersseman : 《ファンタジー》より第51小節目まで
- P. Creston : 《ソナタ》op. 19より第1楽章

ファゴット

自由曲の楽曲例

- J. Weissenborn : 《Bassoon Studies》第2巻 1～21番

ホルン

(1) 技術課題

次の譜例を参考に任意の調性を1つ選択し演奏。



(2) 自由曲の楽曲例

- W. A. Mozart : 《ホルン協奏曲 第3番》より第1楽章(カデンツなし)

トランペット

(1) 技術課題

次の譜例を参考に任意の調性(長調)で演奏。



(2) 課題曲

- G. Kopprasch : 《Sixty Selected Studies for Trumpet》No. 3～No. 10の中から数曲を当日指定。
(出版社の指定なし、繰り返しなし)

(注)このページには【確認事項】を掲載しています。学校推薦型選抜・一般選抜・総合型選抜の入学試験科目
専門科目は33頁を参照してください。

ユーフォニアム

技術課題

次の譜例を参考に任意の調性で演奏。



テューバ

自由曲の楽曲例

M. Bordogni : 《43 Bel Canto Studies》より任意の1曲

打楽器

技術課題(小太鼓かマリンバを選択)

小太鼓：基礎打ち……一つ打ちまたは二つ打ち(いずれも加速減速)、どちらかを選択。
マリンバ：音階……任意の調性・リズム・テンポで、2オクターヴの音階を演奏。

チェロ

技術課題

任意の調性で、3オクターヴの音階(4音を1弓スラーで)を演奏。

コントラバス

技術課題

任意の調性で、2オクターヴの音階を演奏。

マンドリン

技術課題

任意の調性・リズム・テンポで、3オクターヴの音階を演奏。

ギター

(1)技術課題

A. Segovia : 《Diatonic major and minor scales》よりイ短調またはト長調を演奏。

(2)自由曲の楽曲例

F. Sor : 《練習曲》op. 35より任意の1曲

ハープ

(1)技術課題なし

(2)課題曲

次の2曲を演奏。

R. N. C. Bochsa : 《Célèbres Études》op. 62より任意の1曲

F. J. Naderman : 《Sept sonates progressives》より任意の1曲

箏

技術課題

八橋検校：六段の調より、初段を演奏。

学校推薦型・一般・総合型(特待奨学金チャレンジ課題)

(注) 伴奏付きの楽曲については、共演ピアニスト(必要に応じて譜めくり要員)を各自同伴のこと。

前奏・間奏共にカットは任意とする。

当日演奏する箇所を指定する場合があります。

暗譜の指示がない場合、楽譜の使用は任意。

フルート(注)

以下の(1)および(2)を演奏。

(1) 次の3曲より任意の1曲

E. Köhler : 《フルートのための35の練習曲》op. 33 第2巻

J. Andersen : 《24 Studies》op. 21

A. B. Fürstenau : 《24 Etüden (Bouquets des Tons)》op. 125

(2) 次の2曲より任意の1曲 (Bärenreiter 版または Henle 版)

W. A. Mozart : 《フルート協奏曲 第1番 ト長調》KV. 313 (第1楽章のみ、カデンツ含む)

W. A. Mozart : 《フルート協奏曲 第2番 ニ長調》KV. 314 (第1楽章のみ、カデンツ含む)

リコーダー(注)

以下の(1)～(3)から15分程度の演奏。また組み合わせで演奏することも可。

(1) 初期バロックの作品

(2) 18世紀のフランスの組曲

(3) G. Ph. Telemann のソナタ

オーボエ(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

(1) 下記を任意の調性で演奏(暗譜)。

再低音B $\flat$ (変ロ)からF(1点ヘ)までの音域で開始する調の場合

例 C dur



例 e moll



G $\flat$ (1点変ト)からA(1点イ)までの音域から開始する調の場合

例 G dur



例 a moll



(2) 次の2曲より任意の1曲

L. Wiedemann : 《45 Etüden》

W. Ferling : 《48 Etudes》

(3) 次の2曲より任意の1曲

J. Haydn : 《Konzert C dur》より第1楽章

W. A. Mozart : 《Konzert C dur》より第1楽章

学校推薦型・一般・総合型(特待奨学金チャレンジ課題)

(注) 伴奏付きの楽曲については、共演ピアニスト(必要に応じて譜めくり要員)を各自同伴のこと。

前奏・間奏共にカットは任意とする。

当日演奏する箇所を指定する場合があります。

暗譜の指示がない場合、楽譜の使用は任意。

クラリネット(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

- (1) R. Eichler : 《Scales for Clarinet》
任意の長調と短調を1つずつ選択し、スラーで演奏(暗譜)。
- (2) 次の2曲より任意の1曲
C. Rose : 《32 Etudes》
E. Cavallini : 《30 Capricci》(Ricordi版)
- (3) 次の楽曲より任意の1曲(出版社の指定なし)
C. M. v. Weber : 《クラリネット小協奏曲》op. 26
C. P. Stamitz : 《クラリネット協奏曲 第3番 変ロ長調》より第1楽章および第2楽章
F. Krommer : 《クラリネット協奏曲 変ホ長調》op. 36より第1楽章
H. Rabaud : 《Solo de concours》op. 10
A. Messenger : 《Solo de concours》

サクソフォーン(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

- (1) 須川展也編 : 《サクソフォーンのためのトレーニング・ブック》(音楽之友社)より
任意の長調と短調(和声的短音階)を1つずつ選択し、演奏(暗譜)。
- (2) 次の6曲より任意の1曲
G. Lacour : 《50 Études facile et progressives》第2巻より任意の2曲
Ferling/Mule : 《48 Études》より任意の奇数番と偶数番を各1曲
R. Planel : 《プレリュードとサルタレロ》カデンツまでとカデンツの後
P. Maurice : 《Tableaux de Provence》より任意の楽章を1～2曲
J. Demersseman : 《ファンタジー》より第51小節目まで
P. Creston : 《ソナタ》op. 19より第1楽章
- (3) A. Glazunov : 《Concerto en mi bémol》op. 109より冒頭から練習番号16番まで

ファゴット(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

- (1) 任意の調性・アーティキュレーションで、2オクターヴの音階(短調の場合は旋律的短音階)を演奏(暗譜)。
- (2) J. Weissenborn : 《Bassoon Studies》第2巻より1～21番から任意の1曲
- (3) G. Ph. Telemann : 《ソナタ へ短調》より第1楽章および第2楽章

ホルン(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

- (1) 下記を任意の調性で演奏(暗譜)。



学校推薦型・一般・総合型(特待奨学金チャレンジ課題)

(注) 伴奏付きの楽曲については、共演ピアニスト(必要に応じて譜めくり要員)を各自同伴のこと。

前奏・間奏共にカットは任意とする。

当日演奏する箇所を指定する場合があります。

暗譜の指示がない場合、楽譜の使用は任意。

トランペット(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

(1) 下記を任意の調性(長調)で演奏(暗譜)。



(2) G. Kopprasch : 《Sixty Selected Studies for Trumpet》No. 3 ～ No. 10の中から数曲を当日指定。

(出版社の指定なし、繰り返しなし)

(3) 次の6曲より任意の1曲

G. Alary : 《Morceau de concours》

C. Saint-Saëns : 《Fantaisie en mi bémol》

A. Chailleux : 《Morceau de concours》

A. Corelli : 《Sonata VIII》

J. B. Arban : 《Fantaisie brillante》No. 3より「Thème」「Variation 1」「Variation 2」

G. Ropartz : 《Andante et Allegro》

テナートロンボーン(注)

以下の(1)および(2)を演奏。

(1) 任意の調性・形式で、長調と短調の音階をひとつずつ演奏(暗譜)。

(2) F. David : 《Konzertino Es dur》op. 4より第1楽章(Zimmermann版、練習番号Dまで演奏)

バストロンボーン(注)

以下の(1)および(2)を演奏。

(1) 任意の調性・形式で、長調と短調の音階をひとつずつ演奏(暗譜)。

(2) F. David : 《Konzertino B dur》op. 4より第1楽章 バストロンボーン用
(Zimmermann版、練習番号Dまで演奏)

ユーフォニアム(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

(1) 下記を任意の調性で演奏(暗譜)。



(2) J. Rochut : 《Melodious Etudes for Trombone》No. 3 ～ No. 5より任意の1曲

(3) J. Horovitz : 《Euphonium Concerto》より第1楽章

テューバ(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

(1) 音階……任意の調性・音域・リズム・テンポで演奏(暗譜)。

(2) M. Bordogni : 《43 Bel Canto Studies》より任意の1曲

(3) A. Lebedjew (Lebedev) : 《テューバ協奏曲》第1番(1楽章形式)

学校推薦型・一般・総合型(特待奨学金チャレンジ課題)

(注) 伴奏付きの楽曲については、共演ピアニスト(必要に応じて譜めくり要員)を各自同伴のこと。

前奏・間奏共にカットは任意とする。

当日演奏する箇所を指定する場合があります。

暗譜の指示がない場合、楽譜の使用は任意。

打楽器(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

(1) 小太鼓かマリンバを選択(暗譜)。

小太鼓：基礎打ち……一つ打ちまたは二つ打ち(いずれも加速減速)、どちらかを選択。

マリンバ：音階……任意の調性・リズム・テンポで、2オクターヴの音階を演奏。

(2) 次の4曲より任意の1曲

C. Wilcoxon：《The All American Drummer》よりNo. 1、No. 31

A. J. Cirone：《Portraits in Rhythm》No. 1(Belwin-Mills版)

M. Goldenberg：《Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone》
39 EtudesよりNo. 1、No. 3(Alfred版J. Cirone監修のもの)

C. O. Musser：《Etude in C Major》op. 6、No. 10

(3) 次の2曲より任意の1曲

S. Fink：《小太鼓組曲》より「intrada」「toccata」「marcia」

三善晃：組曲《会話》より第1曲、第3曲、第4曲

ヴァイオリン(注)

以下の(1)および(2)を演奏。

(1) C. Flesch：《Scale System》No. 5より任意の音階(リズムとスラーはC durに準ずる)

(2) 古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲の第1楽章(カデンツを含む)

ヴィオラ(注)

以下の(1)および(2)を演奏。

(1) C. Flesch：《Scale System》No. 5より任意の音階(リズムとスラーはC durに準ずる)

(2) バロック以降の任意のヴィオラ協奏曲の第1楽章(カデンツを含む、出版社の指定なし)

ただし、第1楽章が緩徐楽章の場合は急速楽章を演奏する。

チェロ(注)

以下の(1)および(2)を演奏。

(1) J. L. Duport：《The 21 Famous Exercises》より任意の1曲(出版社の指定なし)

(2) バロックからロマン派までの任意の協奏曲より任意の楽章(カデンツなし、ただし緩徐楽章を除く。出版社の指定なし)

コントラバス(注)

以下の(1)～(3)をオーケストラチューニングで演奏。

(1) 任意の調性で、2オクターヴの音階を演奏(暗譜)。

(2) 3～5分程度の楽曲(エチュード可)

(3) 8～10分程度の楽曲(エチュード不可)

マンドリン(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

(1) ムニエル奏法によるマンドリン教則本の第2部Ⅳより「長調の音階と和音」(P.156～)および「短調の音階と和音」(P.158～)から、それぞれ1つずつ任意で選択(暗譜、運指は表記のもの以外でも可)。

(2) 次の2曲より任意の1曲

J. C. Muñoz：《Estampes》より第1曲「Tendresse matinale」または第3曲「Quintessence」

M. Strauss：《Burlesken》より任意の1曲

(3) 次の2曲より任意の1曲

L. v. Beethoven：《Andante con variazioni》(繰り返しなし)

J. N. Hummel：《Concerto (Sol maggiore)》より第1楽章(ピアノの前奏・後奏カット可)

学校推薦型・一般・総合型(特待奨学金チャレンジ課題)

(注) 伴奏付きの楽曲については、共演ピアニスト(必要に応じて譜めくり要員)を各自同伴のこと。

前奏・間奏共にカットは任意とする。

当日演奏する箇所を指定する場合があります。

暗譜の指示がない場合、楽譜の使用は任意。

ギター(注)

以下の(1)～(4)を演奏。

(1) A. Segovia : 《Diatonic major and minor scales》よりイ短調またはト長調を演奏(暗譜)。

(2) F. Sor : 《練習曲》op. 35より任意の1曲

(3) H. Villa-Lobos : 《練習曲》よりNo. 7、No. 9、No. 10、No. 11、No. 12の中から任意の1曲

(4) 古典派以降の任意の楽曲(5～7分程度)

ハープ(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

(1) R. N. C. Bochsa : 《Célèbres Études》op. 62より任意の1曲

(2) F. J. Naderman : 《Sept sonates progressives》より任意の1曲

(3) J. L. Dussek : 《ソナタ ハ短調》

箏(注)

以下の(1)および(2)を演奏。

(1) 八橋検校：六段の調より、初段のみ

(2) 次の5曲より任意の1曲

八橋検校：みだれ 一は壺越(D)

吉沢検校：千鳥の曲 一は壺越(D)

松浦検校：末の契 一は双調(G)

松本雅夫：蒼生第一番

沢井忠夫：鳥のように

ソリスト奨学生入学試験およびアーティスト21特別入学試験

- (注) 伴奏付きの楽曲については、共演ピアニスト(必要に応じて譜めくり要員)を各自同伴のこと。
前奏・間奏共に省略しないこと。当日演奏する箇所を指定する場合があります。
暗譜の指示がない場合、楽譜の使用は任意。

フルート(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

- (1) 次の3曲より任意の1曲
E. Köhler : 《フルートのための35の練習曲》op. 33 第2巻
J. Andersen : 《24 Studies》op. 21
A. B. Fürstenau : 《24 Etüden (Bouquets des Tons)》op. 125
- (2) 次の2曲より任意の1曲(Bärenreiter 版または Henle 版)
W. A. Mozart : 《フルート協奏曲 第1番 ト長調》KV. 313より第1楽章のみ(カデンツ含む)
W. A. Mozart : 《フルート協奏曲 第2番 ニ長調》KV. 314より第1楽章のみ(カデンツ含む)
- (3) 次の楽曲より任意の1曲
E. Bozza : 《Image》
P. Hindemith : 《8 Stücke》より第1曲、第2曲、第3曲、第5曲、第6曲、第8曲
A. Honegger : 《Danse de la Chèvre》
J. Ibert : 《Pièce pour flute seule》
S. Karg-Elert : 《30 Caprices》op. 107より「Chaconne」
S. Karg-Elert : 《Sonata Appassionata fis moll》op. 140
P. O. Ferroud : 《3 Pieces》
L. Berio : 《Sequeza I》
一柳慧 : 《忘れえぬ記憶の中に》

リコーダー(注)

以下の(1)～(4)を含む30分程度の演奏。

- (1) 初期のバロック作品
(2) 18世紀のフランスの組曲
(3) G. Ph. Telemannのソナタ
(4) 任意のコンチェルト

オーボエ(注)

以下の(1)～(4)を演奏。

- (1) 下記を任意の長調・短調(和声的短音階)を1つずつ選択し演奏(暗譜)。

再低音B♭(変ロ)からF(1点ヘ)までの音域で開始する調の場合

例 C dur



例 e moll



G♭(1点変ト)からA(1点イ)までの音域から開始する調の場合

例 G dur



例 a moll



- (2) W. Ferling : 《48 Études》より任意の1曲
(3) G. Ph. Telemann : 《12 Fantasias》より任意の1曲
(4) 次の2曲より任意の1曲
J. Haydn : 《Konzert C dur》より第1楽章
W. A. Mozart : 《Konzert C dur》より第1楽章

ソリスト奨学生入学試験およびアーティスト21特別入学試験

- (注) 伴奏付きの楽曲については、共演ピアニスト(必要に応じて譜めくり要員)を各自同伴のこと。
前奏・間奏共に省略しないこと。当日演奏する箇所を指定する場合があります。
暗譜の指示がない場合、楽譜の使用は任意。

クラリネット(注)

以下の(1)～(4)を演奏。

- (1) R. Eichler : 《Scales for Clarinet》
任意の長調と短調1つずつ選択し、スラーで演奏(暗譜)。
- (2) 次の2曲のうち任意の1曲
C. Rose : 《32 Etudes》
E. Cavallini : 《30 Capricci》(Ricordi 版)
- (3) 次の楽曲より任意の1曲(出版社の指定なし)
C. M. v. Weber : 《クラリネット小協奏曲》op. 26
C. P. Stamitz : 《クラリネット協奏曲 第3番 変ロ長調》より第1楽章および第2楽章
F. Krommer : 《クラリネット協奏曲 変ホ長調》op. 36より第1楽章
H. Rabaud : 《Solo de concours》op. 10
A. Messenger : 《Solo de concours》
- (4) 次の2曲より任意の1曲(出版社の指定なし)
C. M. v. Weber : 《クラリネット協奏曲 第1番 ヘ短調》op. 73より第1楽章(Baermannsのカデンツ含む)
C. M. v. Weber : 《クラリネット協奏曲 第2番 変ホ長調》op. 74より第1楽章

サクソフォーン(注)

以下の(1)～(4)を演奏。

- (1) 須川展也編 : 《サクソフォーンのためのトレーニング・ブック》(音楽之友社)より
任意の長調と短調(和声的短音階)を1つずつ選択し、演奏(暗譜)。
- (2) 次の5曲のより任意の1曲
G. Lacour : 《50 Études faciles et progressives》第2巻より任意の2曲
Ferling/Mule : 《48 Études》より任意の奇数番と偶数番を各1曲
R. Planel : 《プレリュードとサルタレロ》カデンツまでとカデンツの後
P. Maurice : 《Tableaux de Provence》より任意の楽章を1～2曲
J. Demersseman : 《ファンタジー》より第51小節目まで
- (3) A. Glazunov : 《Concerto en mi bémol》op. 109冒頭から練習番号16番まで
- (4) 次の7曲のうち任意の1曲
J. Ibert : 《Concertino da Camera》より第1楽章または第2楽章(Leduc 版)
P. Creston : 《ソナタ》op. 19より第1楽章および第3楽章(Shawnee 版)
A. Desenclos : 《Prélude, cadence et finale》より「Prélude」「Cadence」
R. Boutry : 《Divertimento》より第2楽章および第3楽章(Leduc 版)
H. Tomasi : 《Concerto》より第1楽章(カデンツまで)
J. Rueff : 《ソナタ》より第1楽章または第3楽章
P. Bonneau : 《Caprice en forme de valse》最初から2ページ目の終わりまで

ファゴット(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

- (1) 任意の調性・アーティキュレーションで、2オクターヴの音階(短調の場合は旋律的短音階)を演奏(暗譜)。
- (2) J. Weissenborn : 《Bassoon Studies》第2巻より1～21番から任意の1曲
- (3) G. Ph. Telemann : 《ソナタ ヘ短調》より第1楽章および第2楽章

ホルン(注)

以下の(1)～(4)を演奏。

- (1) 下記を任意の調性で演奏(暗譜)。



- (2) G. Kopprasch : 《60 Selected Studies for French Horn》よりNo. 13とNo. 15(in F、繰り返しなし)
- (3) W. A. Mozart : 《協奏曲 第3番》より第1楽章(カデンツなし)
- (4) W. A. Mozart : 《協奏曲 第2番》または《協奏曲 第4番》より第1楽章(カデンツ含む)

ソリスト奨学生入学試験およびアーティスト21特別入学試験

- (注) 伴奏付きの楽曲については、共演ピアニスト(必要に応じて譜めくり要員)を各自同伴のこと。
前奏・間奏共に省略しないこと。当日演奏する箇所を指定する場合があります。
暗譜の指示がない場合、楽譜の使用は任意。

トランペット(注)

以下の(1)～(4)を演奏。

- (1) 下記を任意の調性(長調)で演奏(暗譜)。



- (2) G. Kopprasch : 《Sixty Selected Studies for Trumpet》より No. 3 ～ No. 10 の中から数曲を当日指定。
(出版社の指定なし、繰り返しなし)
- (3) 次の6曲より任意の1曲
G. Alary : 《Morceau de concours》
C. Saint-Saëns : 《Fantaisie en mi bémol》
A. Chailleux : 《Morceau de concours》
A. Corelli : 《Sonata VIII》
J. B. Arban : 《Fantaisie brillante》No. 3 より「Thème」「Variation 1」「Variation 2」
G. Ropartz : 《Andante et Allegro》
- (4) 次の3曲より任意の1曲
E. Bozza : 《Rustiques》
T. Charlier : 《Solo de concours》
J. Haydn : 《Trumpet Concerto》より第1楽章(カデンツなし、B管またはEs管トランペットを使用)

テナートロンボーン(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

- (1) 長調と短調の音階をひとつずつ当日指定。2オクターヴを任意の形式で演奏(暗譜)。
(2) G. Kopprasch : 《60 Etudes for Trombone》より No. 16、No. 19、No. 20、No. 34 の中から当日指定
(全音楽譜出版社)
(3) F. David : 《Konzertino Es dur》op. 4より第1楽章および第2楽章(Zimmermann版)

バストロンボーン(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

- (1) 長調と短調の音階をひとつずつ当日指定。2オクターヴを任意の形式で演奏(暗譜)。
(2) G. Kopprasch : 《60 Etudes for Trombone》より No. 16、No. 19、No. 20、No. 34 の中から当日指定
(全音楽譜出版社)
(3) F. David : 《Konzertino B dur》op. 4より第1楽章および第2楽章 バストロンボーン用(Zimmermann版)

ユーフォニアム(注)

以下の(1)～(4)を演奏。

- (1) 下記を任意の調性で演奏(暗譜)。



- (2) J. Rochut : 《Melodious Etudes for Trombone》No. 3 ～ No. 5より任意の1曲
(3) G. Kopprasch : 《60 Etudes for Trombone》より No. 8、No. 10、No. 16より任意の1曲
(4) J. Horovitz : 《Euphonium Concerto》より第1楽章および第2楽章

ソリスト奨学生入学試験およびアーティスト21特別入学試験

- (注) 伴奏付きの楽曲については、共演ピアニスト(必要に応じて譜めくり要員)を各自同伴のこと。
前奏・間奏共に省略しないこと。当日演奏する箇所を指定する場合があります。
暗譜の指示がない場合、楽譜の使用は任意。

テューバ(注)

以下の(1)～(4)を演奏。

- (1) 音階……任意の調性・音域・リズム・テンポで演奏(暗譜)。
- (2) M. Bordogni : 《43 Bel Canto Studies》より任意の1曲
- (3) A. Lebedjew (Lebedev) : 《テューバ協奏曲》第1番(1楽章形式)
- (4) R. V. Williams : 《バス・テューバ協奏曲》(Oxford版)

打楽器(注)

以下の(1)～(4)を演奏。

- (1) 小太鼓かマリンバを選択(暗譜)。
小太鼓：基礎打ち……一つ打ちまたは二つ打ち(いずれも加速減速)、どちらかを選択。
マリンバ：音階……任意の調性・リズム・テンポで、2オクターヴの音階を演奏。
- (2) 次の4曲より任意の1曲
C. Wilcoxon : 《The All American Drummer》よりNo. 1、No. 31
A. J. Cirone : 《Portraits in Rhythm》よりNo. 1 (Belwin-Mills版)
M. Goldenberg : 《Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone》「39 Etudes」よりNo. 1、No. 3 (Alfred版 J. Cirone 監修のもの)
C. O. Musser : 《Etude in C Major》op. 6、No. 10
- (3) 次の2曲より任意の1曲
S. Fink : 《小太鼓組曲》より「intrada」「toccata」「marcia」
三善晃：組曲《会話》より第1曲、第3曲、第4曲
- (4) 次の3曲より任意の1曲
P. Creston : 《Concertino》より第1楽章
W. Thärichen : 《ティンパニ協奏曲》より第1楽章
A. Jolivet : 《打楽器協奏曲》より第1楽章

ヴァイオリン(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

- (1) C. Flesch : 《Scale System》No. 5より任意の音階(リズムとスラーはC durに準ずる)を演奏(暗譜)。
- (2) 古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲の第1楽章(カデンツを含む)
- (3) 次の任意の1曲を演奏。
P. Rode : 《24 Caprices》
J. Dont : 《24 Études et Caprices》op. 35
N. Paganini : 《24 Capricci》op. 1

ヴィオラ(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

- (1) C. Flesch : 《Scale System》No. 5より任意の音階(リズムとスラーはC durに準ずる)を演奏(暗譜)。
- (2) 次の2曲のうち任意の1曲(いずれもカデンツを含む、出版社の指定なし)
C. Stamitz : 《ヴィオラ協奏曲 二長調》op. 1より第1楽章
F. Hoffmeister : 《ヴィオラ協奏曲 二長調》より第1楽章
- (3) 次の2曲のうち任意の1曲
B. Campagnoli : 《41 Caprices》op. 22
J. S. Bach : 《無伴奏チェロ組曲》より任意の「プレリュード」または「アルマンド」(出版社の指定なし、繰り返しなし)

チェロ(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

- (1) J. L. Duport : 《The 21 Famous Exercises》より任意の1曲(出版社の指定なし)
- (2) バロックからロマン派までの任意の協奏曲より任意の楽章(カデンツなし、緩徐楽章を除く、出版社の指定なし)
- (3) J. S. Bach : 《無伴奏チェロ組曲》より第3番～第6番のうち任意の「プレリュード」(出版社の指定はないが Bärenreiter 版や Henle 版を推奨)

ソリスト奨学生入学試験およびアーティスト21特別入学試験

- (注) 伴奏付きの楽曲については、共演ピアニスト(必要に応じて譜めくり要員)を各自同伴のこと。
前奏・間奏共に省略しないこと。当日演奏する箇所を指定する場合があります。
暗譜の指示がない場合、楽譜の使用は任意。

コントラバス(注)

以下の(1)～(4)をオーケストラチューニングで演奏。

- (1) 任意の調性で2オクターヴの音階を演奏(暗譜)。
- (2) 3～5分程度の楽曲(エチュード可)
- (3) 8～10分程度の楽曲(エチュード不可)
- (4) 任意のソナタまたは協奏曲から任意の楽章(10分程度、複数楽章の組み合わせ可、カデンツは任意)

マンドリン(注)

以下の(1)～(4)を演奏。

- (1) ムニエル奏法によるマンドリン教則本の第2部Ⅳより「長調の音階と和音」(P.156～)および「短調の音階と和音」(P.158～)から、それぞれ1つずつ任意で選択(暗譜、運指は表記のもの以外でも可)。
- (2) 次の2曲より任意の1曲
J. C. Muñoz : 《Estampes》より第1曲「Tendresse matinale」または第3曲「Quintessence」
M. Strauss : 《Burlesken》より任意の1曲
- (3) 次の2曲より任意の1曲
L. v. Beethoven : 《Andante con variazioni》(繰り返しなし)
J. N. Hummel : 《Concerto (Sol maggiore)》より第1楽章(ピアノの前奏・後奏カット可)
- (4) 次の2曲より任意の1曲
C. Munier : 《Capriccio Spagnuolo》op. 276
E. Marucelli : 《Valzer Fantastico》

ギター(注)

以下の(1)～(5)を演奏。

- (1) A. Segovia : 《Diatonic major and minor scales》よりイ短調またはト長調を演奏(暗譜)。
- (2) F. Sor : 《練習曲》op. 35より任意の1曲
- (3) H. Villa-Lobos : 《練習曲》よりNo. 7、No. 9、No. 10、No. 11、No. 12の中から任意の1曲
- (4) 古典派以降の任意の楽曲(5～7分程度)
- (5) 次の5曲より任意の1曲
M. Castelnuovo-Tedesco : 《Sonata Omaggio a Boccherini》より第1楽章
J. S. Bach : 《Prelude, Fugue and Allegro》BWV 998より「Allegro」
A. José : 《Sonata》より第1楽章
J. Rodrigo : 《Sonata Giocosa》より第1楽章
M. Ponce : 《Sonata 第3番》より第3楽章

ハープ(注)

以下の(1)～(4)を演奏。

- (1) R. N. C. Bochsa : 《Célèbres Études》op. 62より任意の1曲
- (2) F. J. Naderman : 《Sept sonates progressives》より任意の1曲
- (3) J. L. Dussek : 《ソナタ ハ短調》
- (4) C. Saint-Saëns : 《Fantaisie》op. 95

箏(注)

以下の(1)～(3)を演奏。

- (1) 八橋検校：六段の調より、初段のみ
- (2) 次の5曲より任意の1曲
八橋検校：みだれ 一は壺越(D)
吉沢検校：千鳥の曲 一は壺越(D)
松浦検校：末の契 一は双調(G)
松本雅夫：蒼生第一番
沢井忠夫：鳥のように
- (3) 次の2曲より任意の1曲
沢井忠夫：讃歌
宮城道雄：手事

春季・秋季編入学試験／編入学特待奨学金入学試験

① 募集人員(男女共学) 【春季・秋季共通】

学 部	音 楽 学 部	
学 科	音 楽 文 化 学 科	演 奏 学 科
募集人員	春 季 ・ 秋 季 と も に 若 干 名	

② 出願資格

音楽文化学科(音楽文化専修)および演奏学科

春季編入学試験・編入学特待奨学金入学試験

1. 4年制大学音楽学部または短期大学音楽科を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者。
2. 4年制大学音楽学部または短期大学音楽科の2年次を修了した者および2026年3月修了見込みの者。
3. 本学において、相当の年齢に達し、上記と同等以上の学力があると認めた者。

秋季編入学試験・編入学特待奨学金入学試験

1. 4年制大学音楽学部または短期大学音楽科を卒業した者および2026年9月卒業見込みの者。
2. 4年制大学音楽学部または短期大学音楽科の2年次を修了した者および2026年9月修了見込みの者。
3. 本学において、相当の年齢に達し、上記と同等以上の学力があると認めた者。

音楽文化学科 幼児音楽教育専修

春季編入学試験・編入学特待奨学金入学試験

次の1～3号のいずれかに該当し、さらに4号を満たす者。

1. 短期大学卒業および2026年3月卒業見込みの者。
2. 4年制大学において2年次以上在学し、62単位以上を修得した者および2026年3月に修得見込みの者。
3. 本学において、相当の年齢に達し、上記と同等以上の学力があると認めた者。
4. 幼稚園教諭二種免許状を取得済みの者、取得見込みの者または取得課程における十分な単位の取得が認められる者。

秋季編入学試験・編入学特待奨学金入学試験

次の1～3号のいずれかに該当し、さらに4号を満たす者。

1. 短期大学卒業および2026年9月卒業見込みの者。
2. 4年制大学において2年次以上在学し、62単位以上を修得した者および2026年9月に修得見込みの者。
3. 本学において、相当の年齢に達し、上記と同等以上の学力があると認めた者。
4. 幼稚園教諭二種免許状を取得済みの者、取得見込みの者または取得課程における十分な単位の取得が認められる者。

(注意)

- ①幼児音楽教育専修の出願資格3号には、大学に編入できる基準を満たす専修学校を修了(見込み)の者を含みます。
- ②幼児音楽教育専修に入学した場合、全員が幼稚園教諭一種免許状の取得をめざすことになります。
- ③編入学志願者が入学前に取得した授業科目の単位は、本学が教育上有益と認める場合に認定されます。
- ④出身大学(専修学校)のカリキュラム構成が本学と異なる場合、あるいは単位認定が少ない場合、志願者の希望する学年に編入できないこともあります。
- ⑤編入学志願者は、出願前に出身大学(専修学校)の成績証明書を持参または郵送し、学事部入試係と編入学試験について相談を行ってください。オープンキャンパス、受験講習会等の機会を利用することも可能です。

③ 出願手続(編入学試験・編入学特待奨学金入学試験)

1. 期 間 春季：第1回 2025年11月1日(土)～11月8日(土)必着
第2回 2026年1月7日(水)～1月14日(水)必着
第3回 2026年2月18日(水)～2月25日(水)必着
秋季：2026年6月12日(金)～6月19日(金)必着
2. 方 法 速達書留郵送
本学所定の出願用封筒を使用し、上記期間内に必ず到着するよう早めに発送してください。
本学窓口での受付は一切行いません。
3. 提出先 〒730-0016 広島市中区鞆町4番15号 エリザベト音楽大学 学事部入試係
4. 注 意 一度提出された書類、納入された入学検定料は、いかなる理由があっても、変更および返却はできません。

④ 出願書類および入学検定料(編入学試験・編入学特待奨学金入学試験)

	提出書類など	注 意 事 項						
1	入 学 志 願 票 (別紙様式2)	編入学希望する学年を明記してください。						
2	写 真 (2枚) [たて3cm×よこ2.5cm]	正面、上半身、脱帽、背景なしで、出願前3か月以内に撮影したものをそれぞれ所定の欄に貼り付けてください。						
3	試 験 科 目 届 (A4縦・横書・書式自由)	曲目記入にあたっては、演奏する曲目の作品番号・演奏時間等まで詳しく記入し、氏名、志望学科および専修・専攻名を明記のうえ、出願書類と共に提出してください。						
4	活 動 報 告 書 (別紙様式5)	資格の有無、記入する事項の多少は可否に関係しません。面接に際して、志願者についてよりよく知る助けとなるものですから、正直に、そして自由に、あなた自身について記入してください。						
5	証 明 書 等 (厳封したもの)	1.出身(短期)大学等の成績証明書・単位修得(見込)証明書。 2.卒業(見込)証明書または修了(見込)証明書。 注:在籍校によって書式が異なりますので、事前に学事部入試係に問い合わせてください。						
6	入 学 検 定 料 (別紙様式6)	20,000円(消費税非課税) 期間内に以下の口座にお振り込みください(手数料振込人負担)。 銀行窓口から振り込む場合、専用の振込用紙(別紙様式6)が便利です。切り離してご使用ください。 専用振込用紙を使用せず、銀行ATM、パソコン、スマートフォン等からのお振り込みも可能ですが、領収書等の送付はいたしませんのでご了承ください。 <table><tr><td>振込先銀行</td><td>もみじ銀行 本店営業部</td></tr><tr><td>振込先口座</td><td>普通預金 4051680</td></tr><tr><td>受取人</td><td>ガク) エリザベト・オン・ガク・ダイ・ガク ガクジブ 学校法人 エリザベト音楽大学 学事部</td></tr></table>	振込先銀行	もみじ銀行 本店営業部	振込先口座	普通預金 4051680	受取人	ガク) エリザベト・オン・ガク・ダイ・ガク ガクジブ 学校法人 エリザベト音楽大学 学事部
振込先銀行	もみじ銀行 本店営業部							
振込先口座	普通預金 4051680							
受取人	ガク) エリザベト・オン・ガク・ダイ・ガク ガクジブ 学校法人 エリザベト音楽大学 学事部							

⑤ 試験期日(編入学試験・編入学特待奨学金入学試験)

春季：第1回 2025年11月24日(月・振)～11月26日(水)

第2回 2026年2月16日(月)・2月17日(火)

第3回 2026年3月18日(水)・3月19日(木)

秋季：2026年7月31日(金)

試験の時間割は受験票と共に出願期間終了後1週間以内に発送します。

学校行事などやむを得ない場合に限り、試験期日内において試験日の相談に応じます。事前に学事部入試係までお問い合わせください。

⑥ 合格発表(発送日)および発表方法(編入学試験・編入学特待奨学金入学試験)

春季：第1回 2025年12月1日(月)発送

第2回 2026年2月21日(土)発送

第3回 2026年3月21日(土)13:00 学内掲示(予定)

秋季：2026年8月4日(火)発送

春季第1・2回および秋季は受験者全員に通知を発送し、学内掲示はしません。合格者には合格通知書および入学手続に必要な書類を発送します。

春季第3回は2026年3月21日(土)13:00に本学正面玄関エントランスホールにおいて掲示予定です。合格者には合格通知書および入学手続に必要な書類を交付しますので、必ず「受験票」を持参してください。なお、当日来学できない場合は発送しますので、必ず事前に申し出てください。

⑦ 入学手続締切日(編入学試験・編入学特待奨学金入学試験)

春季：第1回 2025年12月9日(火)

第2回 2026年2月28日(土)

第3回 2026年3月26日(木)

秋季：2026年8月18日(火)

上記期日までに手続を完了しない場合は、入学の意思がないものとして入学を取り消しますので注意してください。

詳細は合格時に送付する入学手続要項を参照。

他大学の在籍者で転学を希望する場合は、学事部入試係までお問い合わせください。

⑧ 編入学試験科目

- 〔Ⅰ〕学長面接
〔Ⅱ〕学科別試験科目

音楽文化学科

音楽文化専修

次の(1)と(2)を受験。

(1)以下のA～Cより1つを選択。

A. 創作プログラム（作曲・メディアコンテンツ）

作品提出

自作品の譜面コピー、あるいはコンピュータ・ミュージック(DTM、GarageBand等)の作品を収録したデータおよびメディアコンテンツ(映像)のデータ(CD-R、USBメモリ、SDメモリーカードなど)を出願書類と共に提出してください。

※提出作品等は返却しません。

B. 創作プログラム(デジタル鍵盤楽器)

自由曲1曲(10分以内)を繰り返しなしで演奏してください。自作曲可、ジャンルは問いません。

C. 研究・総合プログラム

小論文

音楽文化に関する課題を試験場で提示します(字数：1,000字程度、試験時間：60分)。

(2)専修教員による面接

幼児音楽教育専修

次の(1)と(2)を受験。

(1)記述：幼児音楽教育に関するテーマについて記述してください。テーマは当日発表します。

(字数：400字程度、試験時間：45分)

(2)口頭試問：記述の内容に基づき質疑応答を行います。

演奏学科

声楽専攻

自由曲：任意の1曲を暗譜、すべて原語によるものとし、オペラ・アリアは原調で演奏。共演ピアニストは本学で準備します。伴奏楽譜の左上に氏名を記入し、出願書類と共に提出してください。

鍵盤楽器専攻(ピアノ、パイプオルガン、チェンバロ)

ピアノ

次の(1)と(2)の順に暗譜、繰り返しなしで演奏。

(1)課題曲：練習曲より任意の1曲

(2)自由曲：任意の1曲

パイプオルガン

次の(1)と(2)の順に繰り返しなしで演奏。楽譜使用可。

(1)J. S. バッハのトリオ形式のコラール作品より任意の1曲

(2)自由曲：任意の1曲(ペダル付に限る)

チェンバロ

次の(1)と(2)の順に繰り返しなしで演奏。楽譜使用可。

(1)J. S. バッハ：《フランス組曲 第5番 ト長調》BWV816

(2)D. スカルラッティのソナタより任意の1曲

管弦打楽器専攻(管弦打楽器、古楽器、民族伝統楽器)

自由曲：任意の1曲を繰り返しなしで演奏。楽譜の使用は任意。

※コントラバス、マリンバまたはハープで受験する場合、本学の楽器を使用することができます。希望者は事前に学事部入試係に連絡してください。

●出身(短期)大学における単位履修状況により試験科目が変更になる場合があります。

事前に学事部入試係にお問い合わせください。

●試験で使用するデジタル鍵盤楽器、パイプオルガン、チェンバロ、打楽器の練習を希望する場合は、事前に学事部入試係に連絡してください。パイプオルガンの練習は、パイプオルガン試験日の2日前からとし、原則として1日2時間とします。

⑨ 編入学特待奨学金入学試験科目

優れた専門能力を有しており、積極的に音楽への学びを深める編入学志願者に対する奨学金付きの入学試験です。入学試験に合格し本学が定める成績基準を満たした場合、1年間の授業料と施設維持費が1/4免除となります。本奨学金は、原則学部在学期間の2年間継続します。

〔Ⅰ〕学長面接

〔Ⅱ〕学科別試験科目

音楽文化学科

音楽文化専修

次の(1)と(2)を受験。

(1) 以下のA～Cより1つを選択。

A. 創作プログラム（作曲・メディアコンテンツ）

作品提出

自作品の譜面コピー、あるいはコンピュータ・ミュージック(DTM、GarageBand等)の作品を収録したデータおよびメディアコンテンツ(映像)のデータ(CD-R、USBメモリ、SDメモリーカードなど)を出願書類と共に提出してください。

※提出作品等は返却しません。

B. 創作プログラム（デジタル鍵盤楽器）

以下のア、イをそれぞれ1曲以上含んだプログラム演奏（15分程度）。

ア：自由曲

イ：自編曲あるいは自作曲（ジャンルは問わない）

C. 研究・総合プログラム

小論文

音楽文化に関する課題を試験場で提示します（字数：1,200字程度、試験時間：60分）。

(2) 専修教員による面接

幼児音楽教育専修

次の(1)と(2)を受験。

選考においては、入学前に取得した授業科目の成績等も重視します。

(1) 記述：幼児音楽教育に関するテーマについて記述してください。テーマは当日発表します。

（字数：400字程度、試験時間：45分）

(2) 口頭試問：記述の内容に基づき質疑応答を行います。

演奏学科

特待奨学金チャレンジ課題を演奏。

志望する専攻の課題を確認すること。

声楽専攻 29頁

鍵盤楽器専攻 31頁

管弦打楽器専攻 36～40頁

● 出身(短期)大学における単位履修状況により試験科目が変更になる場合があります。

事前に学事部入試係にお問い合わせください。

● 試験で使用するデジタル鍵盤楽器、パイプオルガン、チェンバロ、打楽器の練習を希望する場合は、事前に学事部入試係に連絡してください。パイプオルガンの練習は、パイプオルガン試験日の2日前からとし、原則として1日2時間とします。

受験講習会

音楽大学進学をめざす中学3年生以上の方を対象としており、実技だけでなく楽典、視唱、聴音など、音楽の基礎科目についても経験豊富な本学教員による適切な指導や助言を受けることができます。

2025年度 受験講習会実施要領

	実施日	申込期間(必着)
夏期	8月18日(月)～8月20日(水)	7月11日(金)～7月18日(金)
冬期	12月24日(水)・12月25日(木)	11月15日(土)～11月22日(土)

楽典・ソルフェージュ、実力テスト、〈音楽家の耳〉トレーニング講座は無料です。

受講料(税込)：実技レッスン45分：6,000円

実技レッスン90分：10,000円

受講申込：別冊【受験講習会】を使用してください。

実力テスト：各期講習会の最終日に行います。

対象となる奨学金

名称	免除額	概要
「楽典・ソルフェージュ」成績優秀者奨学金	3万円	新入学生のうち、入学前年度の実力テストの成績優秀者(95点以上)は初年度の学費を減免します。

〈音楽家の耳〉トレーニング検定試験

〈音楽家の耳〉トレーニングは、ソルフェージュと音楽理論を統合的かつ体験的に学習し、総合的な音楽能力を養うことを目的としています。

検定試験では、みなさんがこれまでに学習してきたソルフェージュおよび音楽理論の力を総合的に判断します。日頃の学習法で対応できる検定試験ですが、テキスト『〈音楽家の耳〉トレーニング』、『指導の手引き』、〈課題実施体験DVD〉および課題実施体験動画(詳細は『検定試験受験案内』をご覧ください。)の活用、受験講習会の期間中に開講される〈音楽家の耳〉トレーニング講座の受講が試験対策として役立ちます。

2025年度 〈音楽家の耳〉トレーニング検定試験実施要領

回	実施日	受付期間(必着)	実施グレード
1	7月13日(日)	6月6日(金)～6月13日(金)	1・3・5・6・7・8・9・12
2	12月7日(日)	11月1日(土)～11月8日(土)	2・4・5・6・7・8・10・13
3	2026年3月1日(日)	2026年2月3日(火)～2月10日(火)	1・3・5・6・7・8・11・14

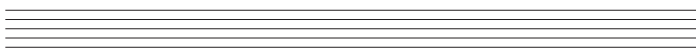
検定料(税込)：グレード1～4：2,000円、グレード5～6：3,000円、グレード7以上：6,000円

受験申込：別冊【検定試験受験案内】を使用してください。※複数のグレードを同時に受験することはできません。

対象となる奨学金

名称	免除額	概要
〈音楽家の耳〉トレーニング検定試験合格者奨学金	3～7万円	新入学生のうち、入学までに〈音楽家の耳〉トレーニング検定グレード5以上を取得している者に対し、そのグレードおよび検定試験の成績に応じて初年度の学費を減免します。

エリザベト演奏グレード検定試験



エリザベト演奏グレード検定試験は、演奏実技を学習する人たちに、学習段階の自覚と、上の段階を目標に一步一步学習を進めることを目的とした検定制度です。

また、演奏グレード検定試験の結果により、入学試験において受験が免除される科目があります。

2026年度春季入学試験において実技試験免除対象となる検定試験

2024年度第3回検定試験(2025年3月8日実施)

2025年度第1回検定試験(声楽・鍵盤楽器・副科ピアノ 2025年7月13日、管弦打楽器実施日は要相談)

2025年度第2回検定試験(声楽・鍵盤楽器・副科ピアノ 2025年12月7日、管弦打楽器実施日は要相談)

2026年度秋季入学試験において実技試験免除対象となる検定試験については学事部入試係にお問い合わせください。

免除対象となる科目

学科名	免除科目	認定グレード (以下の各グレードについて合格した場合、受験が免除されます)
演奏学科	主科実技 (演奏グレード検定試験に設定されていない一部の楽器を除く)	グレード6以上 ※ グレード6以上の受験には、一つ下のグレードの取得が必要です。

副科ピアノまたは主科ピアノのグレード1以上を取得している場合、副科ピアノレベルチェックが免除されます。

2025年度 エリザベト演奏グレード検定試験実施要領

回	科目	実施日	受付期間
1	声楽、鍵盤楽器、副科ピアノ	7月13日(日)	6月6日(金)～6月13日(金)
2	声楽、鍵盤楽器、副科ピアノ	12月7日(日)	11月1日(土)～11月8日(土)
3	声楽、鍵盤楽器、副科ピアノ	2026年3月1日(日)	2026年2月3日(火)～2月10日(火)

管弦打楽器の実施日は受験生と相談のうえ、決定されます(受付期間は同上)。

検定料(税込)：グレード1～5および副科ピアノ：3,000円、グレード6～8：5,000円、グレード9：10,000円、グレード10：20,000円

受験申込：別冊【検定試験受験案内】を使用してください。

課題集：各グレード内容については、別冊【エリザベト演奏グレード検定試験課題集】をご参照ください。

※ピアノ・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・副科ピアノについては[最新版]をご参照ください。

入学手続、その他の事項

① 入学手続に必要な書類

1. 誓約書(本学所定の用紙)
2. 出身学校の卒業・修了証明書(3月下旬に提出)

(注意)上記の書類等は返却しません。

② 入学手続時の納付金および学費

音楽文化学科(幼児音楽教育専修を除く)・演奏学科 【単位:円】

項 目	1 年 次	2～4年次毎年	4年間合計
入学金(入学手続時のみ)	300,000	—	300,000
授業料(年額)	1,300,000	1,300,000	5,200,000
施設維持費(年額)	300,000	300,000	1,200,000
年間 合計	1,900,000	1,600,000	6,700,000

※教職課程(中・高)履修者は2年次以降毎年履修費(10万円)がかかります。

音楽文化学科幼児音楽教育専修 【単位:円】

項 目	1 年 次	2～4年次毎年	4年間合計
入学金(入学手続時のみ)	300,000	—	300,000
授業料(年額)	850,000	850,000	3,400,000
施設維持費(年額)	300,000	300,000	1,200,000
実習費(年額)	25,000	25,000	100,000
年間 合計	1,475,000	1,175,000	5,000,000

※幼児音楽教育専修は教職課程(幼)履修費は不要です。

※教職課程(中・高)履修者は2年次以降毎年履修費(10万円)がかかります。

※学費(消費税非課税)は、前期と後期の分納となります。入学時には、貸与パソコン管理費および学生会費が必要です。本学の楽器の使用を希望する場合は実費が必要となります。練習室費は無料です。

※入学手続終了後に入学を辞退する場合は、速やかに、学事部入試係にお問い合わせください。定められた期日までに所定の手続を完了した場合、既納の納付金から入学金を差引いた金額を返還します。

なお、詳細については、合格時にお渡しする入学手続要項でお知らせします。

パソコン貸与について

本学では、教育環境におけるICTの活用に注力すべく、全学生へのパソコン貸与を実施しております。毎年前期の授業料納付時にパソコン使用料(管理費)として1台あたり年額20,000円を納付いただきます。卒業時にはパソコンを使用者本人に譲渡します。

③ 学生寮

女子学生専用。冷暖房完備。無料で使用できる練習室完備。24時間寮監が常駐しています。寮費は、3食付き(ただし、日祝日は朝食のみ)で1か月40,000円(税込)です。個室電気代は別途個人負担です。入寮時には、入寮費250,000円が必要です。

なお、寮費は改定される場合があります。

④ 入学予定者事前指導

2025年12月24日(水)・12月25日(木)に入学予定者事前指導(楽典、ソルフェージュ、実技など)を実施します。実施日までに各種入学試験に合格した入学予定者は受講してください(ただし編入学生は除きます)。なお、詳細については、合格時にお渡しする入学手続要項でお知らせします。